

おうとう

第 22 号
文責日高洋子



新年あけまして

おめでとうございます

あけましておめでとうござい
います。2025年が静かにあ
けました。始業式では、子ども
達に「勉強を頑張ろう」という
話をしました。子ども達が大人
になって、就職をする頃、世の
中は様変わりしているだろう
と言われていきます。10年前に
はやっていったもの、使っていた

電化製品、考え方はやはり言葉
など、今では通用しないものが
多くあります。子ども達はそれ
のような世の中を生きていくの
です。自分の足で立って、歩い
て行くのです。そのためには
「誠の人」を胸に強く生きてい
く力が必要です。あらゆる課題
を解決する力はもちろん、自分



校門には校務員の千代田さんお手製の立派な門松が...

で何かを創造する力などです。
しかも、それらを自分からも求
めて行くことが重要です。その
ための基礎学力を身に付けま
しょう、という話を始業式で行
いました。3学期はどの学年
も、しっかりと学力を身に付け
させたいです。学習は学校だけ
でなく自宅での学習も大切に
す。御家庭でもメディアコンテ
ロールなどの御協力を！

新年の抱負

始業式での発表から



ぞ頑張る「学習」「学校生活」を

始業式では各学年から3学期の抱負が発表され
ました。1年生の大坪碧仁さんは2学期の反省を
踏まえて「習たり前のことを当たり前にやる」こ
と、また胸を張って先輩と呼ばれるようになりたい
と語ってくれました。2年生の田中耀さんは「3年
生へのゼロ学期」を意識したい、と発表してくれま
した。1月末には職場体験がありますが、体験によ
って得られるものは大きいと期待している様子を
話してくれました。3年生は中里莉望さんが受検
験生らしく、勉強を頑張りたい、卒業までをしっ
かり生活したいと話しました。3人の発表は、聞い
ている全校生徒一人ひとりを納得させるもので、
頼もしく思いました。ぜひ、有言実行で、3学期を
充実させてほしいと願っています。

小さなことから...

積み重ねは無駄にはならない

毎年お正月は、箱根駅伝を見ながら、長崎県
出身の選手を応援することが恒例となっている
のですが、今年は五島南高校出身の川原琉人さ
んが1年生で順天堂大学の5区を走るというの
でいつもとは違って力が入った箱根駅伝でし
た。終盤にはシード権内にいた順天堂大学でし
たが、最終的にはシードがない1位でゴール。
しかし、そもそも10月の予選会も最後の1枠を
一秒差で勝ち取って、本戦出場したとのことで
1位はみごとな走りだったのでないでしょ
うか。来年も予選会からの出場を目指すことにな
るようですが、順天堂大学の選手のみなさんの
「小さなことでも、積み重ねは無駄にならない
」を体現してほしいと思います。

退職のお知らせ

1年C組の担任をしており
ました、山本朋子教諭ですが、
12月26日付で退職しており
ますことをお知らせいたしま
す。本年度4月から勤務し、約
9か月間という短い期間でし
たが、特別支援教育に力を注
ぎ、子ども達も慣れてきたと
ころでした。急なことだった
ということと、冬休みが重な
り、子ども達にあいさつがで
きずに残念がっていました。
また、保護者の皆様や地域の
方々へのご挨拶もできず、申
し訳ありません。本人も大変
心苦しく思っております。
今後は、五島市内の学校で勤
務するかどうかになります
が、また、一緒に勤務できると
嬉しいです。

校長室から

今年の干支は巳(へ
び)です。へび年は「再
来 未来がある」「再
生、変化と進化の象
徴」といった意味があ
るそうです。2025
年は始まったばかり
です。新しい自分の
挑戦することや、新しいことを
始める、今やっていることをリ
セットしてみる、そんなことを考
えて一年の計画を立てると
良いのかもしれない。新学
期に向けて掲示板に次のよう
な言葉を書きました。「新しい
ことに挑戦することにもっとも
大切なことは、現在の自分の
能力を考慮して、できるか、で
きないかを予測することでは
なく「やる気」があるかないか
である。これを忘れてはならな
い。(齋藤茂太)新しい挑戦に
ふさわしい一年なのかも...